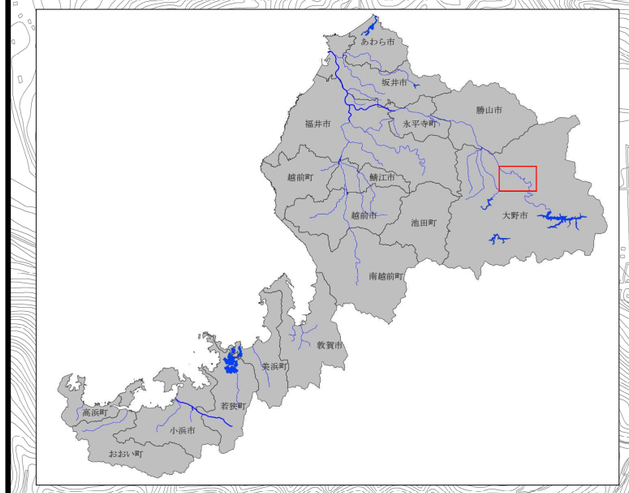
九頭竜川水系橋懸谷川　水害リスク図（簡易型）（計画規模）



大野市

1　説明文

（１）この図は、九頭竜川水系橋懸谷川について、当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域および水深（水害リスク）を表示した図面です。

（２）この水害リスク図は、作成時点の橋懸谷川の河道および洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率１／１０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／１０(１０.０%)）の降雨に伴う洪水により橋懸谷川が氾濫した場合の浸水の状況を簡易的なシミュレーションにより予測したものです。

（３）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮および内水による氾濫等を考慮していませんので、この水害リスク図に着色されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2　基本事項等

（１）**作成主体**　　福井県

（２）**公表年月日**　　令和２年８月５日

（３）**対象となる河川**

九頭竜川水系橋懸谷川

（４）**公表の前提となる降雨**

橋懸谷川流域の１日間の総雨量２１３mm

（５）**関係市町**

大野市

（６）**その他計算条件等**

１）氾濫計算は、対象区域を１０m格子（計算メッシュという）に分割して、これを１単位として計算しています。

２）計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量および基盤地図情報（数値標高モデル）から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

３）洪水の氾濫想定地点を河川の上流端等に限定しているほか、家屋等の立体的な建物の配置状況や、ポンプ場など排水施設の機能、河道水位の時系列変化やそれに伴う破堤現象等が再現されていません。

凡　例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5～3.0m 未満の区域
- 3.0～5.0m 未満の区域
- 市町境界
- 河川等範囲
- シミュレーションの対象となる県管理河川区間

500　0　500　1000　2000

1：10,000

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R1HKs20」